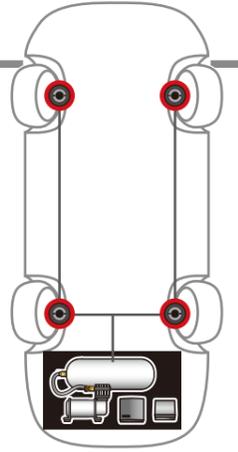


(全キット共通) エアサス点検 (定期的に行ってください)

足回り (エアバッグ周り)



■ フィッティングからのエア漏れ点検

石鹼水を吹きかけてください。エア漏れを起こしている場合、泡が立ちます



■ エアバッグの確認 キズ、ボディ・アーム等への干渉



エアホースの干渉

■ 各固定ボルトの増し締め



■ ロックリングの増し締め ※トルクレンチご使用ください (120Nm)



■ アッパーマウント
固定ボルトの増し締め
(120Nm)



■ キャンバー
アジャスタボルトの
増し締め
(ピロアッパー装着車)

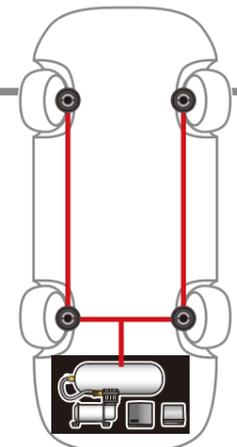


■ ショックアッパー側ブッシュのヘタリが無い

エアホース

■ タイラップが外れていないか、エアホースにキズがないか、
引っ張り具合の確認

足回り全体に汚れ、砂、泥、石、塩害等のダメージが無い確認ください



(全キット共通) エアサス点検 (定期的に行ってください)

システム



■ タンク周りのエア漏れチェック
石鹸水を吹きかけて確認します。
エア漏れを起こしている場合、泡が立ちます



コンプレッサーホース側



バルブ側



水分フィルター側

■ エアータンクの水抜き

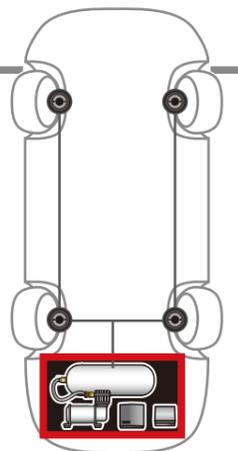


※ 水抜きは水が勢いよく吹き出るので
雑巾をあてて行ってください。
コックを少しづつ開いて行ってください。
※ 水抜き後ドレンコックをしっかり閉めてください。

■ 水分フィルターの水抜き (SP、ゴールドキットの場合)



左廻し→水抜き
右廻し→閉める



■ 電磁弁清掃 (ラグジュアリー、スーパーパフォーマンス、ゴールドキットの場合)

電磁弁にゴミが詰まると一輪だけ動作がおかしいといった症状が現れます。症状が現れた時は清掃を行ってください。また、年に1度は清掃を行ってください。

<前作業>

- ・作業前に必ず、車両の電源をオフにしてください。
- ・タンクの空気をドレンコックより全て抜いてください。(P.48)
- ・エアーをリモコンの数値が全てゼロ(- -)になるまで全下げしてください。
- ・チェックバルブとエアフォースバルブの間にエアーが残りますので、エアーが全て抜けたら“ALL”でUP、DOWN を一度行ってください。

<除去作業>

- ① 六角レンチでカバーを外します。
- ② 下図の電磁弁が8個出てくるので、上部のマグネット部分を外します。
- ③ 前4個が給気(上げ)側、奥4個が排気(下げ)側です。
- ④ 不具合箇所の電磁弁をスパナで外します。
- ⑤ 外したパイプの中にロッドとスプリングが入ってますので分解します。(向きを確認願います)
- ⑥ 本体内部とロッド、スプリングのゴミや汚れをパーツクリーナーなどで清掃してください。
- ⑦ 清掃が終わったら、電磁弁を元に戻してください。
- ⑧ ドレンコックを戻し、エアホースを抜いた箇所を戻し、配線カプラーを確認し、イグニッションOKでコンプレッサーを作動させエアサスを試運転してください。

